

平成24年度 事務事業評価シート

※平成23年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	地域人材活用事業				継続				
コード	91	-	23	-	02	-	00	予算事業名	特色ある学校づくり支援
担当部署	学校教育部	学校管理課	校種間連携担当	予算事業コード	会計 10	款 10	項 01	目 02	

1. 事業の位置付けと関連計画等

第三次川越市総合計画後期基本計画における位置付け 位置付けなしの場合 法令による実施義務

基本目標(章)	2章	学びと交流を深め、豊かな心と文化をはぐくむまち	根拠となる法令、条例等	川越市「地域人材活用事業」実施要綱
方向性(節)	2節	個性を生かす学校教育の推進	個別計画等の名称	なし
施策	1	豊かな人間性をはぐくむ教育の推進		
細施策	3	地域に開かれた特色ある学校づくりの推進		

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	学校(教員・児童生徒)を対象に、多様な教育活動が展開できるように、地域の方々と連携し、児童生徒の自主的・主体的な取組の一層の充実を図り、特色ある学校づくりを推進する。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	学校の要請により、登録された地域の人材を学校に派遣する。活動内容は、教科指導、道徳、特別活動、総合的な学習の時間、部活動等での指導。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算額		1,344	1,320	1,320	825	660	
事業費	A	1,335	1,722	1,800	1,905	660	660
	B	2,220	2,220	2,220	2,220	2,220	2,220
総コスト(C=A+B)		3,555	3,942	4,020	4,125	2,880	2,880
正規職員(1年間の従事人数)		0.30人	0.30人	0.30人	0.30人	0.30人	0.30人
臨時職員(1年間の従事人数)		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金	D	0	0	0	0	0	0
その他特定財源	E	0	0	0	0	0	0
市の財政負担(=C-D-E)		3,555	3,942	4,020	4,125	2,880	2,880

※24年度、25年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

成果	中心指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	指標の定義
成果	人材登録件数	件	108	103	117	113	様々な分野における地域の優れた人材の登録件数
成果	実施回数	回	445	574	600	635	小・中学校全校で予算の範囲内において実施できる合計回数
成果	実施率	%	99.0	130.0	136.0	231.0	予算内における実施率
活動	活用校数	校	48	52	53	51	年間の人材活用校数

中心指標の考え方 本事業は、成果指標を中心に評価する。

指標に基づく評価 各学校においては、地域人材を活用した教育活動を年間指導計画に位置付け、計画的・継続的に実施しているため、実施回数、実施率とも順調であり、目標は達成されている。

5. 事業の実施を通じた分析・評価

(1) 現在の課題と状況	公平性に課題
各学校からの要請に対して承諾するシステムをとり、要請数の上限を設けているが、学校の活動の状況により要請数が異なり、多少受益に偏りがある。	
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	
各学校が年間指導計画にこの人材活用を位置づけ、特色ある学校づくりを推進しているため、教育活動において重要な役割を担っている。今後学校からの要請も多くなることが考えられ、児童生徒の教育活動の低下が想定される。	
(4) 所属長自己評価(今後の方向性)	継続
家庭や地域の協力を得て、体験的な学習活動の充実を図る地域人材の活用は、今後ますます重要になり、学校からの要請も多くなることが考えられる。各学校のニーズに基づく人材活用により、充実した教育活動が実施できるよう本事業を継続し学校を支援していきたい。	